地域の先生方と
高崎総合医療センターを結ぶ

こくたか連携だより

2020年発行
第167号
12月号

手術室紹介 …… 2
麻酔科部長　丸山 登

インフェクションコントロールチーム(ICT)の活動 …… 3
感染管理室長　五十嵐 恒雄

病棟紹介
西４階病棟 …… 4
西４階病棟看護師長　深代 美由紀

49期生「決意式」を終えて …… 5
49期生　前田 桃花

栄養だより …… 6
臨床検査科だより …… 7
診療放射線科だより …… 8
緩和ケアニュース …… 9
医師紹介コーナー …… 10
地域医療連携登録医のご紹介 …… 11
セカンドオピニオンのご案内 …… 12～13
外来診療担当表 …… 14～15
院長室だより/行事などのお知らせ …… 16

ストロベリーツリー
（11月～12月）
‥ 花言葉 ‥
「後が楽しみ」「小さな恋」
「あなただけを愛します」

●地域医療支援病院　●がん診療連携拠点病院
独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター

〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL https://takasaki.hosp.go.jp/
地域医療支援･連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】
患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】
- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】
人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】
- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

手術室紹介

麻酔科部長　丸山　登

手術室が今年３月に５室増え、４月から本格的に稼働を開始しました。

当院本館には手術室が６室あり、開設当時は年間約2,000件の手術を行っていましたが、年々手術件数が増加し2019年度には年間約3,700件となりました。手術件数の増加に伴い、常に手術室が満室で緊急手術もすぐに行えないような状況になってしまいました。そこで、別館建築に際し手術室を5室増室することで手術室に余裕ができ緊急手術もすぐに対応できるようになりました。

新しい手術室にはハイブリッド手術室があります。ハイブリッド手術室とは、手術台と心臓や脳などの血管X線撮影装置を組み合わせた手術室のことです。従来はカテーテル室でおこなっていた血管内治療が、手術室でより安全に行えると共に、手術室と心臓カテーテル室、それぞれ別の場所に設置されていた機器を組み合わせることにより、最新の医療技術に対応します。具体的には脳神経外科の脳動脈瘤のコイル塞栓術や内頚動脈の狭窄のステント留置術、心臓血管外科の胸部・腹部大動脈瘤に対するステント留置術などです。今まではこのような病気に対しては大掛かりな手術が必要だったのですが、血管内にカテーテルという細い管を入れることで治療が行えるようになり、手術の傷も小さく手術時間も短くなり患者さんに優しい手術です。

そのほか医療機器も最新のものを購入し内視鏡手術にも今まで以上に対応できるようになりました。３D内視鏡装置を用い３D眼鏡をかけて手術を行うと、血管の位置などが立体的に見え、手術手技が正確に行えるようになります。また傷も小さく入院期間も短くなります。また新しい画像システムも導入し手術映像を記録することが全室で行えるようになりました。映像を配信・記録することでスタッフルームなどで手術の進行が把握でき、効率のよい手術室運営が可能になり、また手術をあとで見直すことも可能になりました。

手術を受けられる患者さんは多くの不安を抱いていると思いますが、なるべく不安を軽減し安心・安全な手術が行えるよう、また地域の方々に貢献できるよう努めていきたいと思います。今後ともご指導、ご支援をいただきますよう宜しくお願いいたします。

ハイブリッド手術室

インフェクションコントロールチーム(ICT)の活動

感染管理室長　五十嵐 恒雄

感染対策チーム（ICT）は、感染対策が医療機関運営上の大きな問題となってきた1990年代以降に必要性が認識されるようになり、2000年代には感染対策が診療報酬上の要件となり、病院機能評価の主要な評価項目の一つとなったこと等もあって、各種医療機関に広く設置されるようになりました。

業務の対象も当初はMRSAなど耐性菌の院内感染対策が主でしたが、近年では医療のあらゆる場面における感染対策の管理・教育や、職業感染対策などを含め、あらゆる職種を視野に入れた病院全体を、感染対策のためのチームとしてまとめ上げることが任務とされています。2016年の伊勢志摩サミット以後は、耐性菌対策が政治課題となって、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）を組織することも求められるようになりました。感染対策の背景についても家畜などの動物や自然界全体とのかかわりも意識したワンヘルスという概念が提起されています。

また、医療機関の役割分担の深化にともない、複数の医療機関の間の患者さんの移動も多くなり、「地域に生きる」患者さんをどう感染から守るかという、一医療機関にとどまらない地域全体としての感染対策も避けて通れない問題となってきました。これが感染管理加算などの診療報酬制度にも後押しされて、現在のような地域ぐるみの感染対策の枠組みの構築へと発展してきたと考えています。

最近の当地域における感染対策の水準の向上は目覚ましく、医療機関相互のディスカッションの時間も活発で有意義なものになってきており、病院間のカンファレンス等では、地域の医療機関の感染対策への真剣かつ意欲的な様々な取り組みを伺い、また時には現場でその状況を目の当たりにしながら、当院スタッフとしても貴重な勉強の機会を頂き、モチベーションを高める機会をもいただいていると感謝しています。

新型コロナウイルス感染症流行のインパクトの大きさは言うまでもなく、冬に向かって、強い緊張を強いられることになりそうですが、感染対策をより進化させる好機ととらえ、日常の感染対策としてできることを着実に積み重ねてゆくとともに、医療機関相互の協力をより深化させることで地域ぐるみで影響を最小限にとどめることができると信じています。こういった努力が、コロナ後にひとつのレガシーとし実を結ぶことをめざして、微力を尽くしてゆきたいと考えます。どうか今後ともご指導よろしくお願いいたします。

病棟紹介
西4階病棟

西４階病棟看護師長　深代 美由紀

西４階病棟は令和２年３月23日に開棟した新設病棟です。脳外科、神経内科の脳神経疾患を主とした定数40床の混合病棟です。

脳梗塞や脳出血、頭部外傷といった急性疾患を中心に、脳腫瘍、てんかん、パーキンソン、ALSなどの神経難病の治療も行っています。入院患者さんの約8割が救命センターで超急性期の治療を受けたのちに当病棟に転入し治療を継続されます。

脳外科、神経内科はそれぞれ医師、看護師、リハビリスタッフ、ケースワーカーなど多職種が毎週チームカンファレンスを行い、治療方針や患者さんの状態について情報共有します。そこでは、多職種が専門的視点でその患者さんにとって最適な治療法を検討し、患者さんやご家族が望む退院に向けた支援ができるように検討しています。

脳外科領域の手術は緊急の場合が多く、術後は一定期間ベッド上での安静が必要となります。看護師は患者さんやご家族が不安なく術後が安全に経過できるように、医師と協力してわかりやすい説明を心がけています。

また、神経難病の患者さんへの告知は精神的に大きな衝撃を受けることが予想されるため、確定診断告知の場面から患者さんとご家族の意思を尊重し、退院後の生活を踏まえ身体的・精神的・社会的に少しでも不安の軽減につながるよう指導と支援に努めています。

脳神経疾患の特性から意識障害や活動制限のある患者さんが多く、日常生活動作への支援や認知症疾患への看護、せん妄予防の看護などが必要とされます。転倒転落や点滴・胃管カテーテルなどの自己抜去のリスクが高い患者さんに対して、身体抑制以外の方法で安全を確保するための方策を毎日検討します。具体的にはできる限りベッドで臥床している時間を少なくするために、看護師見守りの下で車いすに乗って過ごす時間を作っています。また、自分の力で食事をしていただく事や入浴・シャワーなど家庭と同じような環境を提供することでADLの維持・拡大に努めています。これらは安全確保やせん妄予防だけでなく、誤嚥性肺炎の予防や廃用症候群といった機能障害を最小限に抑え、患者さんの機能回復・維持に大きな効果を発揮しています。午後のデイルームは離床に取り組む車いすに乗った患者さん達で活気づいています。

今後も患者さんとご家族が望む日常生活に近づくための支援に向けて、急性期の段階から医師や看護師その他の医療スタッフと一丸となり、チーム医療に取り組んでいきたいと考えています。

49期生「決意式」を終えて

49期生　前田 桃花

私達49期生は、10月30日に看護師を志す者として看護の道を思い描き「決意式」を迎えました。

「決意式」とは、看護学生一人一人が看護の道を志す意思を固め、どのような看護師になりたいかなど、改めて自分自身を見つめ直す機会となる式典です。

今年は、新型コロナウイルスの影響を受けて、式典の挙行が危ぶまれたなか決意式実行委員を中心に例年より１か月遅れの５月頃から準備を進めました。

私達の決意式は、式典と基礎看護学実習での学びの発表の２部構成にしました。式典では、フローレンス・ナイチンゲールの灯火を受け継ぐ「聖火継承」の後、「誓いの言葉」を唱和しました。49期生82人の意志や大切にしたい事を共有し、３つの誓いを立てました。３つの誓いの言葉は「根拠に基づいた安全で安楽な看護を提供するために確かな技術と知識を身につけること」「信頼関係を築きその人らしく生活できるよう対象の強みを活かした個別性のある看護を提供すること」「心に寄り添い確かな倫理観をもち誠実な態度で看護をすること」です。何度も練習を重ね49期生が一体となり誓いの言葉を唱和できた時、私たちの心に響きとても感動しました。

また第２部の発表では「私たちの大切な看護」をテーマに話し合いを行いました。危ぶまれていた３年生や１年生の参加が叶い、活発な意見交換により自分自身の看護観を深める時間となりました。

私達は、今回また一歩大きく看護師への道を進みました。聖火を通して看護の心を継承し、決意を新たにした今、看護師への思いを強めたと同時に、その看護師を目指す者としての責任をより一層感じています。

49期生はこの大きな学びと全員で誓った言葉を胸に、これからの看護の道に真摯に取り組んでいきたいと思います。

栄養だより

おせち料理

2020年も残りわずかとなりました。年末年始はごちそうを食べる機会が多いかと思いますが、食べ過ぎや飲み過ぎに注意し、体調管理に気をつけましょう。今回はそのごちそうの一つ、おせち料理のお話です。

おせち料理は元々季節の節目の「節供（せちく）」に供えていた料理と言われていますが、現在は最も大切な正月の料理だけを指すようになりました。
一般的には元旦から三が日にかけて食べられるお祝い料理ですが、北海道や東北地方では大晦日から年越しそばと一緒に食べる家庭もあります。
おせち料理は「めでたさを重ねる」という意味で重箱に詰められます。本来は五段重だったようですが、五段目は福を詰める場所として空っぽにしておいたとか…。
現在では三段重が多く、地方やしきたりにより詰め方が異なるようです。

一の重（祝い肴、口取り）

重ねた時に一番上にくる「一の重」には、祝い事にふさわしい祝い肴と口取りを詰めます。
祝い肴三種は正月料理の基本で、関東では、黒豆、数の子、田作りの三種を指し、関西では田作りではなくたたきごぼうが一般的です。
口取りは、かまぼこやきんとんなど酒の肴になる料理のことです。
昔は砂糖が貴重品だったため、甘みを中心とした味付けが多いようです。

二の重（焼き物、酢の物）

焼き物は鯛やぶり、海老など縁起のいい海の幸が中心です。
酢の物は紅白なますで水引を意味しています。また、大根や人参など根菜を使うことから、「根菜のように根を張りますように」という願いもあります。
群馬県では輪切りにした大根で人参を巻いた干し大根のなますを食べる家庭もあります。

三の重（煮物）

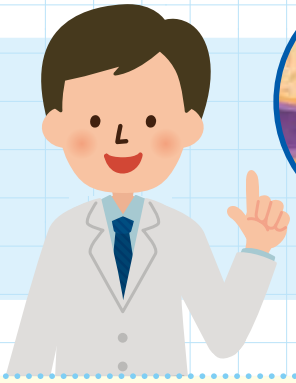
山の幸を中心に、れんこん、里芋、ごぼう、くわいなど様々な具材を一緒の鍋で煮ることから、「家族が仲良く結ばれ、末永く繁栄しますように」という願いが込められています。

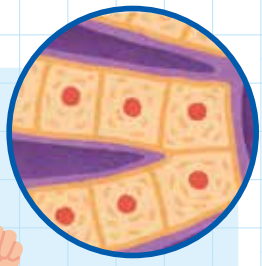
臨床検査科だより

Vol.51

腫瘍マーカー
～肝癌関連マーカー～

肝癌に積極的に利用されている腫瘍マーカーはAFPとPIVKA-Ⅱです。
相補的なマーカーとして組み合わせての測定が有用と考えられています。





◆AFP（α-フェトプロテイン）

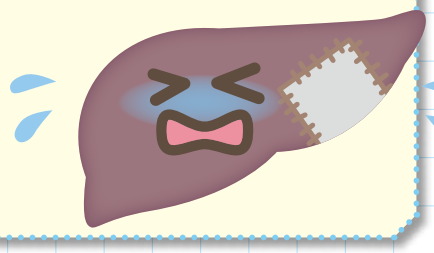
AFPは、胎児肝や卵黄嚢において産生されている胎児性蛋白で、血清AFPは肝細胞癌（HCC）の腫瘍マーカーとして通常用いられます。上昇する疾患を以下の表に示します。
肝細胞癌の90%で陽性となりますが、腫瘍の大小と直接関係はなく、高分化･未分化な例で産生能が低く、中分化の索状型肝細胞癌で高いとされています。肝炎や肝硬変でも陽性例を認めるため、良性疾患との鑑別が難しいことが問題とされています。早期診断における有用性は少ないですが、肝癌への移行が高い肝硬変例で経時的にAFPを測定して、上昇傾向が認められる場合には肝癌の発生を強く疑います。また、腫瘍切除、化学療法などの治療が有効に行われた場合には速やかに基準域にまで低下しますが、再発によって再上昇が認められるため治療後の経過観察に有用です。

表．AFP の上昇する疾患

高　　度	肝細胞癌、卵黄嚢腫瘍、肝芽腫、乳児肝炎
中 等 度	転移性肝臓癌、肝硬変、肝炎（慢性肝炎、劇症肝炎回復期）、先天性胆道閉鎖症 ※妊娠後期でも中等度の上昇を認める

◆ PIVKA- Ⅱ

PIVKA-Ⅱは、血液凝固第Ⅱ因子であるプロトロンビンの肝における生合成不全に由来する異常蛋白です。肝癌血清中に比較的高頻度に検出されることから、肝癌のマーカーとして利用されています。肝癌でのPIVKA-Ⅱの陽性率は50%程度です。特異性が高いことやAFP上昇との間に相関がみられないことから、両者の併用による診断率の向上が期待されます。PIVKA-Ⅱが高値なほど腫瘍径は大きく、門脈浸潤の頻度が高いと報告されています。また、AFPと同様に治療経過に伴って変動し、経過観察にも有用です。良性疾患での陽性率は慢性肝炎、肝硬変で数%、肝内胆汁うっ滞で30%以上とされています。
また、ワルファリンや抗生物質の投与によって上昇します。



次回は膵・胆道系およびそのほかの消化器系腫瘍マーカーについて説明します。

医療機器共同利用のご案内

当センターで保有しています医療機器を、地域の医療機関の先生方にもご利用いただけます。患者さんの診療および治療にお役立てください。

乳がんを見つける検査方法とは?

乳がんは早く見つけて治療を開始できれば治癒できる病気になってきました。乳房をなるべく残すよう乳房を温存する手術や、乳房を元のかたちに近づけるために再建する手術など、患者さんが自分らしく生きるために医療も進歩しています。自分らしく生きるために、早期発見できる検診を定期的に受けることが重要です。乳がんを見つけるための検査には、マンモグラフィや超音波検査（エコー）が有名です。マンモグラフィやエコー以外にもCT検査やMRI検査を使って、乳がんを見つけることができます。

CT検査で乳がんを見つける

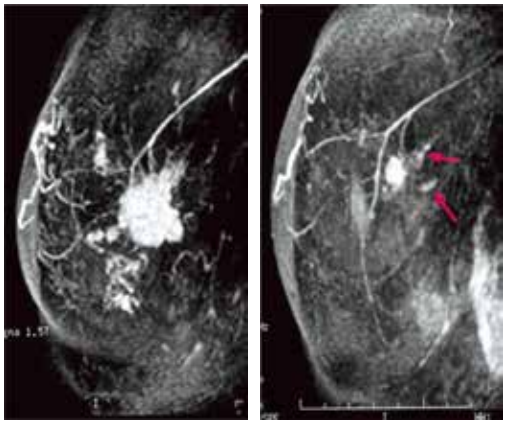
CT検査は、体の断面を撮影することができるため、乳がんのしこりの大きさや広がりを診断するために有用性があります。手術をする前の切除範囲を決める際に、CT検査を行うことが多いです。

MRI検査で乳がんを見つける

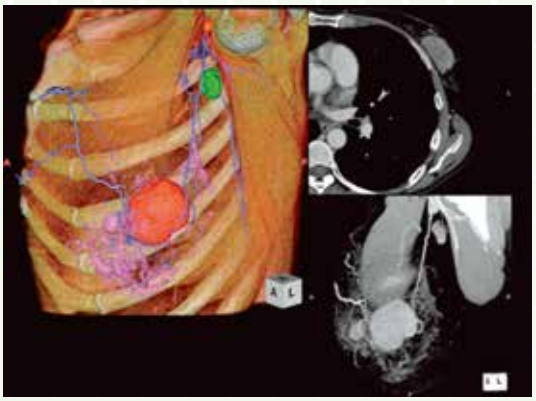
MRI検査は、マンモグラフィやエコーでは見つけることができないしこりを見つけることができます。MRI検査は、しこりとそうでない組織を鑑別することに優れています。乳がんの検査では、通常と異なり筒のような装置にうつ伏せになり、検査を行います。また、画像を鮮明に写し出すために造影剤を使います。欧米では、遺伝的な原因などにより乳がんを発症するリスクの高い人に対して、本人が希望すればマンモグラフィと一緒に、年1回MRI検査を行うことが勧められています。

●MRI（MRM）画像による切除範囲の決定

術前薬物療法を行う前　術前薬物療法を行ったあと



手術前に行った薬物療法の効果をMRI（MRM）画像でみる。がん自体は縮小しているものの、樹枝状に残った部分がみられる。



高崎総合医療センター

お問い合わせ　**地域医療支援・連携センター**

TEL 027-322-5835　FAX 027-322-5925

緩和ケアニュース

睡眠の話 No.2

（No.1は、ねむりねこと睡眠はかせによる睡眠の話）

良い睡眠には、人それぞれに合った“時間”と、ぐっすり眠れたかどうかという“質”が重要です。よく眠れずに困った時にはお薬の力を借りるのも有効ですが、緩和ケアはもちろん、生活習慣の見直しをすることで、より良い睡眠が得られることもあります。

より良い睡眠習慣について聞いてみよう！

ねむロウ

たくさん寝たはずなのに眠くて眠くて…。

睡眠はかせ

いつもどんなふうに寝ているのかな？

おなかいっぱい夕ご飯を食べてそのまま寝ます。

おなかいっぱいの状態で寝ると、眠っている間も消化のために胃腸が活発に働くので、夜中に目が覚めたり、睡眠の質が低下したりします。
夕食は寝る２時間前くらいまでに済ませると良いですよ。

夜中に目は覚めるなぁ…。
眠いので、休みの日には昼頃までたくさん寝るようにしています！

休みの日には寝ていたい気持ちもわかりますが、
平日と２時間以上ズレがあるのは良くないですね。
起きる時刻の乱れは体内時計のリズムの乱れにつながります。

休日の寝だめはダメなのか…。昼寝はどうですか？

昼食後の20分程度であれば、眠気を抑えたり、作業効率を高めたりするのに効果的です。
30分以上では深い眠りに入るのでかえって眠気が残ります。
また、午後３時以降の昼寝は夜の眠りをさまたげるので、
午後１時～３時くらいまでの間が良いでしょう。

ホー！ 寝ればなんでも良いというわけではないんですね。

そうですね。ポイントをまとめます。

❶ **食事は寝る２時間前までに済ませましょう。**
❷ **休日の寝だめはNG！休日の起床時間は平日と２時間以上ズレないようにしましょう。**
❸ **昼寝は午後３時までの20～30分以内にしましょう。**

医師紹介コーナー

当センターの医師を紹介します！

４月より外科で勤務させていただいております宮前洋平です。出身は群馬県沼田市です。専門は大腸外科、主に腹腔鏡手術を専門としております。実は９年前、３年前までも高崎総合医療センターに勤務しており、今回で３回目の赴任となります。前回、前々回の勤務時と比べると病院のシステム、勤務環境など非常に改善されており、隔世の感を禁じ得ません。これもひとえに当院を立ち上げてきた諸先輩方のご尽力、そして病院をサポートしてくださっている地域の先生方のご支援のたまものと、感謝せずにはいられません。高崎総合医療センターは今後さらに地域において重要な役割を持つ病院になっていくことは間違いないでしょう。ごく微力ではありますが、病院の発展に寄与できるよう、粉骨砕身の覚悟で日々の医療に取り組んで参りたいと思います。いろいろとご迷惑をおかけするとは存じますが、何卒よろしくお願いします。

●外科
宮前（みやまえ）　洋平（ようへい）

初めまして、2020年４月から外科で勤務することになりました成澤瑛理子と申します。群馬大学を卒業後、高崎総合医療センターで２年間の初期研修を行いました。今回外科医としてまたこの病院に帰ってくることができ嬉しく思っています。手術の前後には、患者様は色々な不安を抱えていらっしゃると思います。安心して術前術後を過ごせるように、丁寧な説明・診療を心がけて参ります。

地域の先生方におかれましては、いつも患者様をご紹介頂きありがとうございます。経験が浅く不慣れな点もございますが、高崎地域の医療のため精進して参りますので今後とも何卒よろしくお願い致します。

●外科
成澤（なるさわ）　瑛理子（えりこ）

地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

吉浜内科小児科クリニック

吉浜内科小児科クリニック
院長
吉浜　豊

院長あいさつ

国立病院機構高崎総合医療センターの地域医療支援病院登録医の吉浜豊（よしはまゆたか）です。

地域医療のサテライトクリニックとして高崎総合医療センターと連携しながら外来診療、往診、看護を行ってまいります。

診療科・病院案内

内科・消化器科・小児科・皮ふ科(第3土曜日)

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00～12:00)	●	●	●	／	●	●	／
午後(3:00～6:00)	●	●	●	／	●	●	／

※往診応需

群馬県高崎市鶴見町9-3　TEL:027-322-5865

高崎駅西口から歩いて５分の内科、消化器科、小児科のクリニックです。再開発により発展を続ける高崎駅西口地域。この地域のオフィスで働く方、お住まいの方、お子様ご高齢の方、すべての皆様の健康の悩みに積極的に取り組んでいます。

なみえクリニック

なみえクリニック
院長
柿沼 臣一

院長あいさつ

これまでの勤務医経験を生かし、苦痛の少ない内視鏡検査や生活習慣病・検診などの予防医療に積極的に取り組み、地域の皆様に“信頼”され、そして“安心”してご利用頂けるクリニックを目指していきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

診療科・病院案内

内科一般・消化器(胃腸)内科・外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00～12:30)	●	●	●	●	●	●	／
午後(15:30～18:30)	●	●	／	●	※	／	／

※受付時間は18：00迄となっております。また、金曜午後は16：00からの診療になります。

群馬県高崎市上並榎町417　TEL:027-362-5808

最新の医療機器（レントゲン・内視鏡・超音波検査等）と電子カルテを使用して患者さんと情報を共有し、わかりやすい説明を行えるようにしました。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を
実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者がご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科　【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、小児科、外科
乳腺･内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科
泌尿器科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科

予約方法

完全予約制　代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】　月曜～金曜　８時30分～17時の間

※精神科の受付時間は **月曜～金曜　８時30分～12時迄** となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させて頂きます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜　13時30分から15時30分の間で調整

費　用

30分以内　5,500円(消費税込み)
30分以上　11,000円(消費税込み)

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。
医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。
その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。
当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科　名	医師名	専　門	曜　日
内科	佐藤　正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田　逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	中川　純一	呼吸器全般	
消化器内科	長沼　篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田　智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井　知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田　昌樹	不整脈一般	水
小児科	五十嵐　恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	小川　哲史	消化器外科全般、特に悪性腫瘍の手術	木
	坂元　一郎	消化器外科全般	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵　幸生	乳癌全般・甲状腺外科	第1·3·5週 金(午前)
心臓血管外科	小谷野　哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部　崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂　貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	栗原　秀行	脳・脊髄腫瘍、脳神経外科全般	火
	笹口　修男	脳血管障害	木
産婦人科	伊藤　郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	井上　雅晴	泌尿器科全般	火
眼科	土屋　明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸　幾	画像診断ＣＴ·ＭＲ中心	木
	佐藤　洋一	画像診断ＣＴ·ＭＲ中心	火
放射線治療科	永島　潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川　元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬師寺　孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤正通 飯塚尭	佐藤正通（予約のみ） 真下大和	真下大和（予約のみ）	佐藤正通 （合田史）午後：予約専門外来 飯塚尭	佐藤正通 真下大和
栄養食事指導外来		佐藤正通（午後）			
内分泌代謝内科	渋沢信行	（小澤厚志）	武藤壮平 吉川将史（午前）	渋沢信行（午後）	武藤壮平
神経内科	（池田雅美）	古田夏海	清水千聖	古田夏海	古田夏海（午前）
呼吸器内科	中川純一 （佐藤麻里）（午後）	内田恵 （申悠樹）（午前）	増渕裕朗（午前） 板井美紀	中川純一 増渕裕朗	内田恵 （山口公一）（午前） （若松郁生）（午後）
消化器内科	長沼篤（午前） 安岡秀敏（午前） 上原早苗（午前） 糸井祐貴（午前）	星野崇（午前） 綿貫雄太（午前） 鈴木悠平（午前）	柿崎暁（午前） 安岡秀敏（午前） 増田智之（午前） 石原弘（午後） （蘇原直人）（午前）	長沼篤（午前） （工藤智洋）（午後） 増田智之（午前） 鈴木悠平（午前）	星野崇（午前） 綿貫雄太（午前） 館山夢生（午前） （岡野祐大）（午後）
内視鏡検査	星野／増田／岡野	安岡／増田	綿貫／上原	綿貫／糸井	長沼／鈴木／岡野
心臓血管内科（循環器）	太田昌樹（午前：通常／午後：不整脈外来） 村田智行 伊藤芽以（午前）	小林洋明 高橋伸弥 （金澤紀雄）（再来）	広井知歳 太田昌樹（午後：不整脈外来） 羽鳥直樹（午前）	福田延昭（午前） （金澤紀雄）（再来） 湯浅直紀	小林紘生（午前：通常／午後：不整脈外来） 太田昌樹（第2，4週午後：ペースメーカー外来） 久野貴弘（午前）
新患外来（午前）	高橋伸弥	久野貴弘	村田智行	羽鳥直樹	小林洋明
精神科	井田逸朗 関谷樹（午前）	井田逸朗 関谷樹（午前）	井田逸朗 関谷樹（午前）	井田逸朗	井田逸朗 関谷樹（午前）
小児科	五十嵐恒雄（午前） 内田亨 須田峻平（午後）	五十嵐恒雄（午後） 倉田加奈子（午前） 齋藤淑人（午後は奇数週のみ） （神尾綾乃）（第4週午後） （西澤拓哉）（第1，3，5週午後）	五十嵐恒雄（午前） 倉田加奈子（午後） 佐藤幸一郎（午後） （滝沢琢己）（第2，4週午後） <乳児健診>（午前）	藤生徹（午後） 倉田加奈子（午前） 小笠原聡	五十嵐恒雄（午後） 藤生徹（午後） 佐藤幸一郎 永井祐介（午前）
小児外科		（西明・高澤慎也）（第2，4週午後）			
外科（消化器）	坂元一郎 田中成岳	小川哲史 成瀬瑛理子（午前）	榎田泰明 田中寛	小川哲史 平井圭太郎 小川哲史（小川祐介（栄養士））	宮前洋平 星野万里江
栄養サポート外来					
ストーマ外来			第2，4週午後・予約	第1，3，5週午後・予約	
泌尿器科	井上雅晴	栗原聰太	（青木雅典）（午前）	井上雅晴	栗原聰太

① 外来診療受付時間

8:30～11:00迄（予約の場合は最終予約時間まで）

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない場合、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。

② 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。

地域医療支援・連携センターから地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、地域医療支援・連携センターを通した事前予約にご協力下さい。

（　　）の医師は非常勤です。

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前 徳田尚子 午前	鯉淵幸生 髙他大輔 午前 徳田尚子 成澤瑛理子 午後	鯉淵幸生 髙他大輔 徳田尚子	(荻野美里) 第2，4週午後 (中澤祐子) 第1，3，5週午後 交代制 午前・予約	鯉淵幸生 第2，4週午前 髙他大輔 午前 徳田尚子 第1，3，5週午前
心臓血管外科	<手術日>	小谷野哲也 午後	<手術日>	小谷野哲也	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 第2，4週	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 角田大介	大澤敏久 齋藤健一 小板橋佑輔	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛	新井厚 角田大介 <手術日>	大澤敏久 齋藤健一 一ノ瀬剛
形成外科	(古賀康史) 午後			(牧口貴哉) 第1週 (平井優樹) 第3週 (中村英玄) 第2、4、5週	(田村健・竹内誠也) 午後・交代制
脳神経外科	和田元 田中志岳	栗原秀行 午前	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科		(井上千鶴) 紹介・予約			(内山明彦) 紹介・予約
産婦人科	伊藤郁朗 永井あや 西村俊夫	青木宏 西村俊夫 黒住末央	根井ひとみ 午前 (小暮佳代子) 午前	(金井眞理) 午前 (森田晶人) 午前 交代制 午前	伊藤郁朗 青木宏 永井あや
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史		<手術日>	高橋克昌 岡宮智史	高橋克昌 岡宮智史
放射線治療科	永島潤 紹介・予約 大高建 紹介・予約	永島潤 紹介・予約 大高建 紹介・予約	永島潤 紹介・予約 大高建 紹介・予約	永島潤 紹介・予約 大高建 紹介・予約	永島潤 紹介・予約 大高建 紹介・予約
歯科口腔外科	柴野正康 紹介・予約	<手術日>	薬師寺孝 紹介・予約 前山恵里 紹介・予約	薬師寺孝 紹介・予約 柴野正康 紹介・予約	<手術日>
新患外来	薬師寺孝 紹介・予約		柴野正康 紹介・予約	前山恵里 紹介・予約	
歯科（歯科麻酔）摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1，3，5週のみ、紹介・予約 木村将典 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約 (荒井亮・辻野啓一郎) 第2，4週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 木村将典 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 木村将典 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約

（令和２年12月１日現在）

③ 予約について（医療機関からの紹介患者事前予約）

当院は病・医院からの紹介事前予約制をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8時30分～11時までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11時～15時までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。（予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。）

④ 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル：027-322-5835　FAX：027-322-5925

平日 8時30分～18時30分　土曜日 8時30分～17時15分

●FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります

COLUMN

院長室だより

vol.65

チャップリン

サー・チャールズ・スペンサー・チャップリン（Sir Charles Spencer Chaplin）（1889-1977）はイギリスの映画俳優・映画監督・映画プロデューサー、脚本家、作曲家。

20世紀においては、映画が時代の精神を、すなわちその価値観と感受性を、鋭く反映する表現形式であり得たことを考えると、20世紀の映画を代表していたのは、だれよりもチャップリンであると思われます。特に私が感動したのは、「独裁者、The Great Dictator 1940」「殺人狂時代、Monsieur Verdoux 1947」などで、20世紀社会のこれだけ多くの要点をこれだけ明瞭に指摘し、これだけ鮮やかに批判した芸術家は、映画作家ばかりでなく、文学者や画家にも少ないだろうと思われます。今回は「独裁者」の中でチャップリンが演じた、記憶喪失の主人公が、ヒットラーを模した独裁者に顔がそっくりなことから本人と間違えられて兵士達に演説する感動的な最後のシーンをそのまま日本語訳します。80年前のチャップリンの演説が不幸な事に21世紀の現在も私達に響いて来ます。

悪いが、私は皇帝になりたくない。支配するよりも人々を助けたい。ユダヤ人も黒人も白人も、お互いに助け合わなければならない。他人の幸せを願い、憎みあってはいけない。地球には全ての人を包む豊かさがある。人生は自由で楽しいはずなのに、貪欲が心を支配し、憎悪をもたらし、悲劇と流血を招いた。スピードも役に立たず、機械は貧富の差を広げた。知識を得た人間は優しさをなくし、心の通わない思想で人間性が失われた。

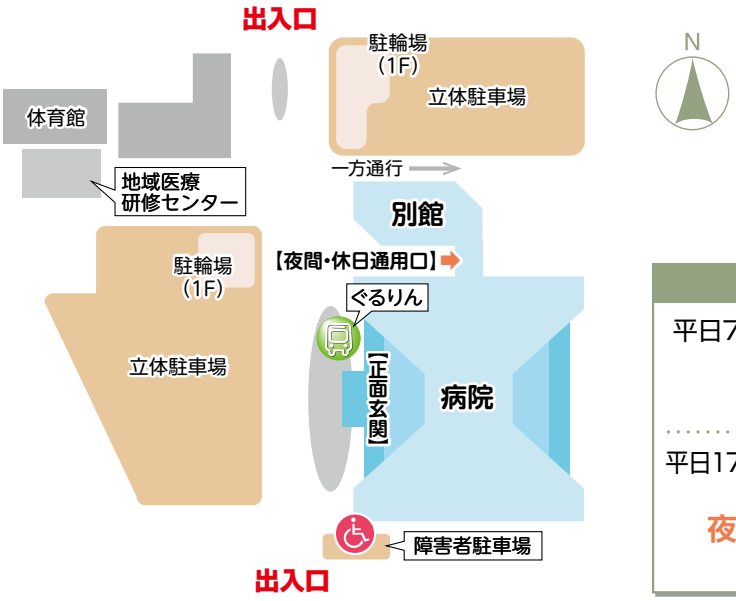
知識より大切なのは思いやりと優しさ、それがなければ機械と同じだ。航空機やラジオで人々が近づき、それで世界をひとつにできる。私の声が世界中に伝わり、失意の人々にも届いている。彼らはこの歪んだ支配体制の犠牲者である。人々よ希望を捨てるな。貪欲が招いた不幸も、人として生きる不安も独裁者の死と共に消え去る。そして民衆は政権を取り戻す。兵士よ良心を失うな！ 独裁者に惑わされるな！ 君たちは支配され、まるで家畜のように扱われている。彼らの言葉を信じるな！ 彼らには血も涙もない。君たちは機械ではなく人間なのだ。人を愛する心を持て。愛があれば憎しみは生まれない。

“神の国は汝らの中にある”聖書の言葉だ。君の中にも私の中にもその力がある。すべてを創造する力は君たちの中にあるのだ。

自由で希望に満ちた世界を作ろう！ 民主主義の名のもとに団結しようではないか！ 新しい世界のために戦おう！ 雇用や福祉が充実した社会を作ろう！ 独裁者たちも同じ約束をした。だが口先だけで約束を守らなかった。約束を果たすために戦おう！ 世界を解放し、国境を無くし貪欲や憎しみを消し去るのだ。良心のために戦おう！ 科学の進歩が人々を幸福に導くように、兵士よ民主主義のために団結しよう！ 人の魂には翼があったんだ！ やっと飛び始めた、虹に向かって飛んでいる。希望の光に向かってすべての人の輝く未来に向かって…。

病院長　石原　弘

高崎総合医療センター案内図



出入りについて

平日7時30分～17時15分は
正面玄関を
ご利用ください。

平日17時15分～翌朝7時30分、
土日祝日は
夜間・休日通用口を
ご利用ください。

編集室より

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。
電 話 027-322-5835（医療機関専用ダイヤル）

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html 検索

独立行政法人・国立病院機構
高崎総合医療センター